




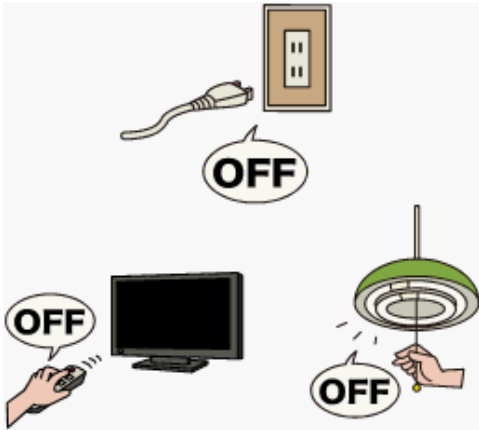
■ 5月に開催した「議会報告会」において、参加者から多くのご意見をいただきました。市当局からの回答を掲載します。

	質 疑 項 目	回 答 内 容
1	<p>財政歳入について、歳出増への対策は、企業誘致すれば雇用の安定・購買力増・固定資産税の増など、またラッピングバスによる収入増を考えていただき、歳出削減だけでなく、夢が描ける湖南省に是非していただきたい。</p> 	<p>●コミュニティバスは、現在 16 車両を走らせており、その中に、市が補助をして購入されたバス 5 台と小型車（ハイエース）1 台があります。</p> <p>その 6 台に対して、昨年度湖南省コミュニティバスの名称「めぐるくん」の文字ステッカーを前後左右に貼りました。</p> <p>今年度、借用しているバスが、老朽化してきたことにより、市の補助でバスを一台購入し、そのバスを、「こにゃんバス」にする計画がなされています。バスのデザイン、走行時期等も含め、「湖南省コミュニティバスの運行を考える市民会議」により決定していくつもりです。</p> <p>また現在、市が補助したバスに、「こにゃんちゃん」「いしべえどん」といった公式キャラクターのステッカーを貼るといったことも考えております。</p> <p>乗客が、毎年減少傾向ではありますが現在でも年間 30 万人を越えるかたの利用がされています。こういった、目立つバスをすることで、不定期に乗車いただける方が少しでも増加していければと考えます。</p> <p>●企業誘致は、市税収入などに大きく期待をしているところであり、市としては、現在市内へ進出を希望している企業に対し、情報提供を積極的に行っています。</p>

2	<p>住居表示事業について、北山台地先では調整区域が宅地として開発され、表示が枝番表示で複雑である。菩提寺地先として、早急に対処していただきたい。</p>	<p>●住居表示の目的は、地番が混乱しているところを分かりやすくするために実施する手段の一つです。</p> <p>北山台の一丁目から四丁目は土地区画整理によって出来た住宅街で、地番がきれいに並んでおり、住所も順序良く並んでいるので、住居表示を実施する必要がありません。</p> <p>今、地区計画で開発された宅地のポポラート北山台では、土地地番が“菩提寺 332 番地〇〇〇”と、一つの親番に枝番が並んでおり、他の菩提寺地先でも 332 番地がなく、この宅地を特定できるものです。</p> <p>しかしこの宅地の中に、“北山台二丁目 3 番地”という場所があり、そこも含め開発されたため、127 区画中、3 区画だけは住所が“北山台二丁目 3 番地〇〇”という宅地ができてきます。</p> <p>北山台二丁目は既存でも 1 番地から 12 番地まであり、その中の一部として 3 番地が増えることは、位置特定においては混乱をきたすほどではないと考えます。</p> <p>以上のことから、住居表示による変更は、内外への周知、費用対効果を考えると、必要性から見ると薄いと思われ、実施しない方向で考えております。</p>
3	<p>防災士育成事業 61,000 円／人で 50 人と算出されているが、合否率をどうみているのか。</p>	<p>●日本防災士機構によると、事前に配布される教本（テキスト）により事前自宅学習をしていただき、2 日間の講習を受講していただければ、合格率は 90%以上と聞いております。</p> <p>なお、所定の講習を全て受講していただいた方には、合否に関わらず、市より受講終了証を出す予定です。</p> <p>また、ご参考までに試験は三択式で 30 問中、21 問の正解で合格となります。</p>



<p>4</p>	<p>火事の時、緊急時、家にいても知りたいがサイレンが鳴らず、行政無線も廃止となり、状況がつかめない。なぜ鳴らないのか？行政無線の復活は？</p> 	<p>●旧石部町では、火災発生時に消防団員を召集する目的で西庁舎に設置されているモーターサイレンを火災発生時に吹鳴しておりましたが、現在は、消防団員個人の携帯電話に、火災情報をメールにて一斉配信を行う体制を整備させていただいているところです。</p> <p>甲賀広域行政組合消防本部通信司令室からの火災緊急情報メール、さらには湖南タウンメールによる消防団連絡用メールの2系統によって、火災の発生場所、状況、消防団出動要請の有無などの情報伝達の配信を行っておりますので、西庁舎のサイレンを吹鳴するだけという不確実な情報伝達を行う必要性がないと考えています。</p> <p>また、防災行政無線の活用については、大規模に類焼する恐れがある場合や、住民の皆さんに避難をしていただく必要がある場合には防災行政無線やタウンメールを活用して、広く住民の皆さんに情報を伝達する必要があると考えております。</p>
<p>5</p>	<p>コミュニティバス事業は、営業路線か福祉路線か？採算面からではなく、もっと利用しやすい面を重視するなど、マイナス思考からプラス思考で取り組んでいただきたい。</p> 	<p>●平成2年コミュニティバスとして運行したときの目的は、福祉路線として、公共施設を結ぶバスでありました。</p> <p>乗車は無料でしたが1回につき、福祉協力金として大人100円、子ども50円の募金を呼びかける形での出発でした。</p> <p>しかし、市民からの要望、JRバスの全線撤退等をうけ、平成4年9月より町内巡回バス「ふれあい号」として再スタートし、駅と住宅を結ぶバスとして運行し始め、年々利用者のニーズに応えるかたちで路線を増数しました。</p> <p>旧石部町につきましても、平成8年県立石部高校開校に伴い、石部駅と高校を結ぶ路線からはじまりました。</p>

		<p>平成 16 年 10 月甲西町と石部町が合併し、湖南省が誕生し、乗車料金等の見直しも行いましたが、乗客数の減少が目立つようになってきたため、平成 21 年度大幅な路線の見直しを実施しました。</p> <p>現在では年間 30 万人程度の利用があり、コミュニティバスとしては、県下でも優秀の収益をあげています。</p> <p>車社会になった現在、利用しやすいバスにするには、どのようにしていけばいいか。これからの課題であると思います。</p> <p>ハード面では、新規購入するバスはノンステップバスであり、ユニバーサルデザインに対応したバスになっております。</p> <p>今後も高齢者や障がい者等の交通弱者の移動手段を確保するためにも利用しやすいバスになるよう検討していきます。</p>
6	<p>原発停止による電力不足には、湖南省はどのように取り組むのか。柑子袋地先のモニュメントの照明は無駄ではないか？</p> 	<p>●電力不足に対する対策としましては、節電と発電があります。原発停止による大規模な電力不足は電力会社の努力はもとより、市役所、企業、市民と各自での協力が必要となってきます。</p> <p>市役所は節電対策として、6月18日に「湖南省節電対策本部」を設置し、今夏の厳しい電力供給状況を踏まえ、「平成 22 年度比で 15%の節電」を目標に関係機関と連携を図りながら、総合的な節電対策に取り組んでいるところです。</p> <p>公共施設をはじめ、一般家庭や地域の団体、事業所などに対して緑のカーテンの取組普及運動を、環境保全団体などと協力して推進しています。</p> <p>広報こなん7月号から「くらしのなかの環境」として節電や環境について連載し、10月号には「この冬の節電・省エネ」を掲載しています。今後も広報等で広く市民へ周知・啓発してまいりたいと考えております。</p>



地域で自然エネルギーを生み出し消費する。また、その生み出された利益を地域で循環させることが大切となってまいります。

昨年度から取り組んできました「緑の分権改革」の「市民共同発電所プロジェクト」が、一般社団法人を立ち上げられました。

今後はこの社団法人が市民共同発電所の開設を考えておられます。この様な取り組みで、自然エネルギーで地域を支えていくという新しい発想のまちづくりを進め、この動き・政策を広げていけるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

●柑子袋地先の国道1号線に隣接設置しているウツクシマツをイメージしたモニュメントについては、旧甲西町において当時の町境に設置したもので、照明はモニュメントのライトアップを目的としております。昨年、東日本大震災後の電力需給事情を考慮し、ライトアップについては出来るだけ早期に取りやめることといたします。

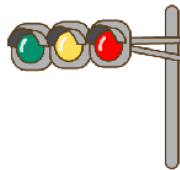
7 岩根地区の商店街がだんだん減っていく。空き家ばかりで、どうなっていくのか。


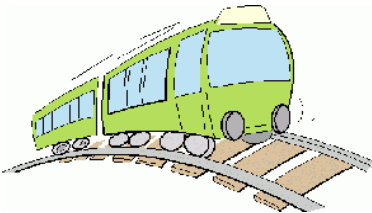
●地域商店街の活性化は、地域住民の生活の利便性を高めるためにも必要と考えています。現在、湖南省商工会の商業振興事業において、地域商店街の活性化対策について、事業検討を行ってまいります。

8 下水道整備事業について、県道野洲甲西線の北山台入口から高田砂川までの間が未整備である。

●当該箇所下水道整備につきましては、現在未整備となっておりますが、早期完了をめざし、平成24年度に実施設計を行い、平成25年度に工事着手予定で準備を進めております。

9	<p>河川整備事業について、大山川の支流の砂防堰堤の草を刈る、ゴミ拾いはするが、土砂の除去は？</p>	<p>●砂防事業によりできた堰堤は、県において管理されている砂防構造物です。県は、必要に応じ予算の許す範囲で管理されていますので、満砂状況になりましたら、市から県に土砂の浚渫を要望します。</p>
10	<p>吉永山手線、子どもが通ると決定されているのか。地元では何の話もない。是非地元の声を。</p>	<p>●通学路を前提に道路整備を行っておりませんが、沿道の道路利用者には、車、自転車、歩行者、車いすなど利用される形態は様々です。道路整備を行う上においてはユニバーサルデザインを考慮した整備を行っておりますので、完成後に通学路として指定される場合もあると考えております。</p> <p>また、区長、区役員をはじめ、沿道の皆さまには道路整備計画段階における説明会の開催等を通じて、ご説明させて頂いております。</p>
11	<p>竜王春日線の横断歩道が通学路である。午前7時半は通勤車が大変多く、10年前から要望しているが、今まで報告がない。なんとか信号をつけてほしい。</p> <p>工業団地の工場から団地に入る道路の角度が急で、冬場は凍る。中学生が自転車で通り、2～3台は事故を起こして、大変危険である。歩道を確保してほしい。</p>	<p>●信号機の設置は警察署の公安委員会が行います。湖南省では年2回警察署に信号機設置をはじめとするさまざまな要望を提出しています。この箇所についても今年度もすでに要望をし、該当箇所の現場説明についても重ねて甲賀警察署にも行っています。しかしながら、滋賀県全域から多数の要望があるということでなかなか設置の実現には至っておりません。</p> <p>今後とも、設置について要望を続けていきたいと思っております。</p> <p>●桐山1号線は冬期において路面が湧水により凍結する場合があります。市としても道路維持管理上、放置できないと考えており、「湖南省道路整備計画」において歩道整備計画をしております。</p>



12	<p>甲西橋とバイパスとの交差点の名前がない。なぜ名前がないのか。</p> 	<p>●交差点はすべて名称があるわけではありません。</p> <p>交差点の正式名称は、県の公安委員会、警察、道路管理者の三者が協議して決定されるもので、交差点の信号機などに付けられている交差点名称標識は、道路管理者が設置しているものです。今後、利用者や地元の声などを参考に必要なら検討します。</p>
13	<p>三雲駅周辺事業、駅舎に 12 億を費やすことについて反対。JRのために税金が費やされるのはいかがなものか。</p> 	<p>●駅は、町の玄関口であり、三駅を拠点とした利便性の高いまとまりのあるまちづくりを推進しています。駅周辺の整備につきましては、既に湖南省の総合計画や都市計画マスタープランにおいて、位置付けされています。三雲駅舎の整備は、国の社会資本整備総合交付金事業の補助金をいただきながら、進めていけるよう検討しているところであり、JRの費用負担額につきましても、今後の協議の中で費用負担のルールに基づき詰めていきたいと考えています。</p> <p>また駅舎の改築につきましては、JRも民間企業となり、利用者が伸びないことで、積極的な協力がいただけず、未だ着手できていない状況にありますが、今後も引き続き協議を行っていきたく考えています。</p>
14	<p>石部駅前の開発は、今必要なのは大きな構想ではなく、駅舎やバスの接続などもっと身近なことを取り上げてほしい。</p>	<p>●平成 23 年度に石部駅周辺のまちづくり将来構想が、まとまったところではありますが、段階的な整備としての区域や内容は、未だ決定されていません。駅のバリアフリー化や駅舎改修を中心に整備検討を行っていきたく考えています。</p> <p>●湖南省には、3つの駅があり、石部駅は、菩提寺、石部地域。甲西駅は、菩提寺、下田地域。三雲駅は、三雲、下田地域を結ぶかたちで主に走行しております。</p>

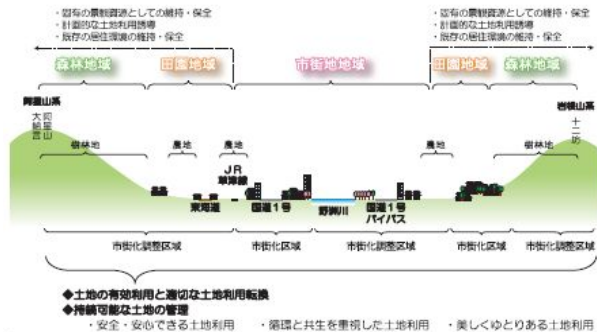
また、湖南三山に伴う観光時期は、増便対応や3寺院を結ぶ臨時路線や、デマンドバスにより、雨山運動公園での行事に対する対応についても行ってありますが、乗客は年々減少傾向をたどっております。

J Rとの接続ですが、朝は、通勤、通学者のために早朝からJ R草津方面行きに、夕方から夜間にかけては帰宅者に向けてJ R柘植方面に対応出来るかたちで限られたバス運行の中で対応している現状です。

また、日中については、市役所利用や病院通院のため、買い物利用のための走行にとバスの運行を考え対応しております。

こういった、対応についても「湖南市コミュニティバスを考える市民会議」の中で、広く市民の声を反映させるかたちで出来た路線であります。

15 甲西駅南側は、市街化調整区域で制限があるが、北側のように開発が自由にならないのか。



●市街化調整区域は、市街化を抑制する区域であり、開発行為が原則としてできません。J R南側は、湖南市都市計画マスタープランにおいて、田園環境保全エリアとして位置付け、農業振興地域での整備を行っているため、市街化区域に編入するには、市の総合計画、都市計画マスタープランの変更など国、県、農業委員会、都市計画審議会の承認が必要となります。よって開発行為は大変難しいと思っています。

なお、南側駅前隣接地については、非農用地区域の設定がなされております。